



コンサートや花火大会再開

耐震改修工事などで中断していた「夕ぐれコンサート&花火大会」が、水道週間の関連行事として、6月8日に旧御殿水源地で3年ぶりに開かれました。弦打ゆめづくりコーナーなどに多くの人が訪れ、イベントを満喫していました。



つるピーも早速行ったよ。唧筒場の前でパチリ



旧事務所。多機能トイレや授乳室が設置された

藤まつり多彩に 岩田神社

岩田神社で、県自然記念物である樹齢800年といわれる孔雀藤が咲き誇る4月20日から30日まで藤まつりが開催されました。「ピアニシモ」による藤棚コンサートに始まり、青木、本村獅子組による獅子舞、「花みずき」による大正琴の演奏がありました。27日には中国の弦楽器の二胡のグループ、「姐姐四」による演奏会があり、優雅な音色で大勢の観客を魅了しました。



岡山、讃岐社中による大江戸玉すだれ

また、29日には岡山、讃岐社中による大江戸玉すだれの公演があり、岡山社中は、弦打校区からの水害募金の感謝の公演として、真備のイメージソング「竹の道」にのせて竹林の風景を息の合った見事な技で披露してくれました。公演後は玉すだれを手に取り体験できる時間もあり子供達も楽しんでいました。



鉦、太鼓に合わせた勇壮な獅子舞



ゆめづくりコーナー、フリーマーケット、お茶会などもあり、大いに盛り上がりました。

百均グッズなどが並ぶ
ゆめづくりコーナー

つるうち 広報 第17号

写真特集

2019
7

発行：弦打校区コミュニティ協議会
弦打地区社会福祉協議会
TEL.087-882-0285
つるうち.ネット <http://www.tsuruuchi.net/>

令和元年7月号

弦打校区の人口(令和元年6月1日現在) 合計10,753人 男5,292人 女5,461人 世帯5,194世帯

鶴市町にあり、国の登録有形文化財がある旧御殿水源地(高松市水道資料館)では、2017年から約3億8千万円をかけて耐震改修工事が実施されてきましたが、この度その工事が完了。美しい大正期の洋風建築の景観が復活し、5月27日から一般公開されています。

今回、耐震改修工事をしたのは登録有形文化財に指定されている唧筒場(旧ポンプ場)、旧事務所。「水道資料館」とし

ての利用だけでなく、その文化的価値を保護・保全するため、管理する県広域水道企業団が民間事業者から活用方法を探るサウンディング型市場調査を行います。将来この施設が弦打校区の一大名所に変身するかもしれません。

開館時間は午前10時から午後5時まで、休館日は年末年始(12月29日~1月3日)、入館料無料、21台の駐車場。

(最終面にも写真・関連記事)

大正の洋風建築美が復活 市水道資料館、耐震改修終える



白い外壁と水色の柱が鮮やかな唧筒場



旧事務所の窓越しに見る唧筒場



唧筒場の内部の様子



工事で伐採された桜で作ったベンチが置かれている